

## 麻布大学の環境活動サークルの学生が森林の間伐や枝打ち、下草刈りを実施

< 新潟県 >

市町村・集落の名称	妙高市水原地区
協働の相手（企業や大学等）の名称	麻布大学（環境活動サークル「Green Nova」）
仲介者・コーディネーターの名称	仲介者：株式会社富士通総研「ボランティアホリデー」 コーディネーター：妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会
協働のポイント	<p>学生に対し、当初はパンフレットやDVD等の資料を送り妙高市の中山間地域について情報提供したが、「今まで自分の中にあった地方のイメージとほとんど変わらない。」というような意見が出ただけだった。</p> <p>その後、実際に学生と会って中山間地域住民の苦勞や棚田が広がる景観、そこに根付く生活文化の素晴らしさについて話したところ、共感を得ることができ、協働に至った。</p>
協働のきっかけ・経緯	<p>平成20年1月：(株)富士通総研が運営を行っている「ボランティアホリデー」の「地域パートナーズ・プロジェクト」の交流会に参加し、環境活動を行っている学生と意見交換</p> <p>平成20年2月：麻布大学生の中山間地域視察受入</p> <p>平成20年3月：麻布大学生主催の環境イベントに招かれ、妙高市の取組を発表</p> <p>平成20年8月：麻布大学生と地元住民の協働による森林整備活動の実施</p>
取組の具体的な内容	<p>高齢化・過疎化により、整備がままならなくなっていた森林の間伐や枝打ち、下草刈りを行った。</p> <p>作業後、中山間地域の暮らしをテーマに懇談会を行った。</p>
農村地域への効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あきらめていた森林整備について、今後も継続していく意欲が醸成された。</li> <li>・協働の具体的な姿が理解できたため、ワーキングホリデーの受入や都市住民との交流を進めていく自信となった。</li> </ul>
都市部の主体（企業や大学等）への効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作断念地がひろがれば地崩れにもつながるなど、「農」が環境と深く関連しており、森林（自然・環境）を守ることは人の暮らしや文化を守ることだということを体感した。</li> <li>・協働を通じて、地域住民との交流が生まれ、活動継続の意欲が高まった。</li> </ul>
仲介者等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会への都市住民の田舎暮らしに関するニーズ等の情報提供</li> <li>・麻布大学生等との意見交換の場の設定</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働のたびにかかる学生の負担（交通費、宿泊費、作業に必要な備品購入費）の軽減</li> <li>・地元住民が、本当に学生に手伝ってもらいたい時期や内容の調査</li> </ul>
関連事業（国・都道府県等）	

(活動状況写真等)

